

昨年に引き続き、今年も10月8日（木）より、大学院共通科目「死因究明学」を開講いたしました。

「死因究明学」は死因究明教育研究センターに所属する教員だけではなく、死因究明に携わる他研究科の先生にもご協力いただき、全8回の講義を行いました。

- 令和2年10月 8日（木） 医倫理について（的場）
- 15日（木） 死因究明学総論（田中伸哉）
- 22日（木） 人の死等と法歯学（竹内）
- 29日（木） 死因究明に関する法体系と社会背景（上田）
- 11月 5日（木） 病理解剖と死因究明（田中敏）
- 12日（木） 医療安全と死因究明（南須原）
- 19日（木） 病理解剖と死後画像併用の有用性（原田）
- 26日（木） 法医学的死因究明法（兵頭）

本講義は医学院在籍の大学院生だけでなく、他研究院在籍の院生も多く受講し、昨年同様死因究明への関心の高さがうかがえました。

また、今年は例年とは違い、コロナの影響でwebでの講義となった回もありました。

